

事業報告

令和5年度 第1回大分県社会教育行政職員専門研修会

日時：令和5年9月1日（金）10：00～15：40

会場：大分県立図書館 第2・3研修室

参加者：14名（11市町村13名、県1名）

<趣旨>

県下の生涯学習・社会教育の推進のために、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村社会教育行政職員等を対象として、その資質・能力の向上を図る。

今回は、「若者を対象とした社会教育」をテーマに、地域の子ども・青年に対する「地域に根ざしたキャリア形成」について検証し、課題の解決に向けた方策を講じる。

【研修1】10：15～12：00

講義：地域における子ども・青年のキャリア形成をとりまく現状と課題

講師：大分大学 IRセンター 助教 丹田 桂太 氏



午前中、「社会教育新論」の共同著者である丹田先生の講義を受講しました。「青年層のキャリア形成」という切り口から社会教育論を展開するなかなかアカデミックな内容でした。大分県国東市出身で今年度より大分大学にお勤めの先生のお話からは、社会教育の領域の広さとともに私たちが普段あまり見えてなかった「青年層」の存在を社会教育領域にきちんと位置付ける視点の大切さを気付かせていただきました。

【研修2】 13:00～15:30

演習：地域における子ども・青年のキャリア形成に、社会教育専門職員はどう関わるか？
～身近なキャリアから考える

講師：大分大学 IRセンター 助教 丹田 桂太 氏



午後の演習では、参加者それぞれの青年期を思い起こしながら「地域の子ども・青年に多様なキャリアを描いてもらうには？」をテーマにワールドカフェを実施しました。途中、それぞれの人生を振り返る「モチベーションチャート」を作成し対話する場面では、笑いあり涙ありで皆さん盛り上がっていました。多様なキャリアを重ねていくためのまなびの重要性を再発見する時間となりました。

<参加者感想>

- 聞くだけの研修会ではなく、グループワークがあって良かったと思います。
- 午前中のキャリア形成のお話は、一部分、自分自身の進路を決めた際にも考えていたので、自分の夢を見つけるために視野を広くして考えることができたり、進学を考える上で現実が追いつかなくなるような問題を見直すために、社会教育行政職員としてできることを探したいと思います。
- 様々な市町村の方と話をし、同じ社会教育に関わる人でも、色んなキャリアを経て、色んな考え方を持っていることが分かりました。
- 青年層が、つどい・学び・つながることのできる公民館のあり方を考えているのですが、キャリア形成という新たな視点を、本日の研修で得ることができました。
- 様々な分析結果から多くのことをご示唆いただいた丹田先生のご講演はとても説得力があり、あらためて地域における学びの重要性を確認することができました。午後の演習も間違いなく充実した時間になったと思います。